

# 平成 23 年度第 1 回修習セミナー報告

修習技術者支援委員会 副委員長  
亀田雄二

平成 23 年 4 月 23 日(土)に第 3 ウエノヤビル 6 階会議室で開催した第 1 回修習セミナーのご報告です。

3 月 11 日の東日本大震災より、1 月以上経過してはいましたが、個人的にも今回の大震災について色々考えることがあり、参加された方もそれぞれの思いの中での参加ではなかったかと思えます。被災された方には心よりのお見舞いを申し上げます。

そのような中で、セミナーには 51 名、懇親会には 20 名の方にご参加いただきました。(講師及び委員 12 名を含む)

今回のセミナーは、平成 22 年度の合格者による体験談をメインテーマとしました。

13:40~14:40 「市民のための公務員技術士になる！！」柴崎恭範氏(建設部門)

14:50~15:50 「製造技術者の技術士受験体験談」井尻敦氏(電気電子部門)

15:50~16:20 「技術士第二次試験の最近の動向と対策」

山下祐一氏(応用・建設・総監部門)

16:20~17:00 グループガイダンス

柴崎氏、井尻氏のお話から、お二方の受験を追体験でき、また、それぞれ違った勉強のスタイルを伺うことができました。受験に向けての参考に、モチベーションアップに繋がるお話であったと思います。

柴崎氏に受験において「想定外だったことは？」という質問をしたところ、「筆記試験合格自体が想定外」というお答えをいただき、人生におけるまたとない貴重な時間を過ごされたこととあらためて感じました。また、「市民のための公務員技術士になる」という決意にも大変感銘を受けました。

井尻氏講演時に、私の準備不足からパワーポイント内のリンクファイルが開かないという事態を招いてしまい、井尻氏には大変申し訳ありませんでした。しかし、このアクシデントにもかかわらず、きっちり時間内にお話頂き、大変感謝いたします。技術士受験を通じて培われた応用能力のなせる技だったのではないかと思います。

山下氏からは、お二方の体験談を踏まえた上で、さらに詳しく注意事項等をお話いただき、大変参考になりました。

グループガイダンスでは、受験者の方を部門毎に 7 グループに分けさせて頂き、受験申込書の書き方等のアドバイスをさせて頂きました。

セミナー終了後の恒例の懇親会では、大震災に関するご意見、初参加の方からのセミナーに対するご意見など、多くのお話を聞き、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

ご参加の皆様、ありがとうございました。



セミナー風景



懇親会風景